



Movie meets Shinpa, Shingeki and Shinkokugeki

サイト開設のお知らせ

平素よりお世話になっております。このたび、国立映画アーカイブは、国立情報学研究所と共同で**新たな WEB サイト「はじまりの日本劇映画 映画 meets 新派・新劇・新国劇」**を開設し、**2025 年 3 月 28 日（金）11:00 に公開する運びとなりました。**当館の所蔵映画コレクションを配信する 6 つ目のサイトとして、本サイトは日本の劇映画が外国映画の影響などによって、その初期の段階から変貌を遂げてゆく時期に、人材を中心に大きな役割を果たした新派、新劇、新国劇という日本の近代演劇との関係に焦点を当て、可燃性ポジフィルムからデジタル化を行った『寒椿』（1921 年）など、関東大震災をはさむ大正の後期に製作された貴重な 9 作品を公開するとともに、演劇研究・評論の第一線で活躍されている専門家の方々に論考をお寄せいただき、また配信作品に関連する資料類を紹介いたします。

本サイトでは、以下 3 つのセクションによる構成から、さまざまなコンテンツをご覧いただけます。

映画をみる

水谷八重子（初代）が名前を伏せて映画初出演を果たし、「新派の異端児」と呼ばれた名優・井上正夫との初共演作でもある『寒椿』、「映画女優第 1 号」とされる花柳はるみ出演の『収穫』（1921 年）、その生涯が小説にもなった伊澤蘭奢出演の『社会教育劇 街の子』（1924 年）、新国劇を創設した澤田正二郎の幻のフィルム『高田馬場』（1924 年）のほか、『救の手』、『ほととぎす』『小羊』『噫無情 第一篇 放浪の巻』『國定忠次』を公開します（短縮版や断片のみの素材を含みます）。

深く知る

映画にも造詣の深い、演劇研究者・神山彰氏、演劇評論家・大笹吉雄氏、熊本県立大学准教授・羽鳥隆英氏に、配信作品に具体的にふれていただきつつ、映画と演劇の豊かな関係性を考察する論考をお寄せいただきました。これらの論考で示された興味深い指摘の数々は、映画史を考える上でも新たな視点を得るための糸口となるでしょう。

資料をみる

国立映画アーカイブが長年にわたる活動の中で保存に努めてきた映画関連資料の中から、本サイトの配信作品に出演する俳優たちのポートレートや舞台関連の写真、映画の一場面や撮影スナップが掲載された雑誌の口絵頁、さらにスチルやポスターなどを紹介します。



WEB サイトトップイメージ

本サイトを通じて、日本の劇映画と近代演劇の歴史が紡いだ豊かな関係が再発見されることを目指しています。つきましては、記事化をご検討いただきますようよろしくお願いいたします。

サイト名	はじまりの日本劇映画映画 meets 新派・新劇・新国劇
URL	https://eigameetsshinengeki.filmarchives.jp
制作	国立映画アーカイブ、国立情報学研究所
公開日	2025 年 3 月 28 日（金）11:00

〈〈公開コンテンツの一部〉〉

公開作品

①『寒椿』（国活角筈、畑中夢坡監督、1921年）

水車小屋番の老父と娘の悲劇を描いた新派劇の映画化で、映画初出演の水谷八重子（初代）と「新派の異端児」井上正夫という2人の名優の初共演作として演劇史的な意味も認められよう。



①

②『救の手』（国活巢鴨、1921年）

労働者の生活を支える簡易保険の有用性を説いた簡易保険事業の周知宣伝映画で、日本演劇史の女優の草分けのひとりである林千歳が出演し、新劇運動の先駆者である小山内薫が脚色を担当した。



②

③『ほとゝぎす』（松竹キネマ、池田義臣監督、1922年）

愛し合う夫婦の悲劇を描いた徳富蘆花の小説を劇化し、新派の「独参湯」といわれた人気演目を、松竹蒲田の「女王」と呼ばれた栗島すみ子の主演で映画化した大ヒット作品。



③

④『高田馬場』（東京朝日新聞社、1924年）

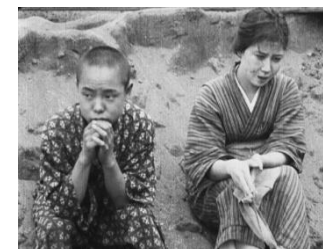
新国劇を創設した澤田正二郎が、母校早稲田大学の大隈会館大庭園において、恩師・坪内逍遙の脚本で中山安兵衛の仇討話を一座とともに上演した『高田馬場』の記録で、長く現存が確認されなかった幻の作品。



④

⑤『社会教育劇 街の子』（東京シネマ商会、畑中夢坡監督、1924年）

不良少年の更生を描いた社会教育映画で、関東大震災の被災状況の撮影で知られる東京シネマ商会が製作した。後の日活スター夏川静江（夏川静枝）が主演。大正新劇史にその名を残す伊澤蘭奢の出演作としても貴重。



⑤

公開資料

⑥伊澤蘭奢ポートレート

⑦岩田祐吉ポートレート

⑧水谷八重子ポートレート

⑨『国定忠次』〔再公開サウンド版〕ポスター

⑥



⑦



⑧



⑨



【本件に関するお問い合わせ】

国立映画アーカイブ「はじまりの日本劇映画 映画 meets 新派・新劇・新国劇」広報担当

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-6

電話：03-3561-0823/FAX：03-3561-0830

E-mail：emk@nfaj.go.jp